



落ち着いて、早く早く
(須屋区民体育祭)

きずな



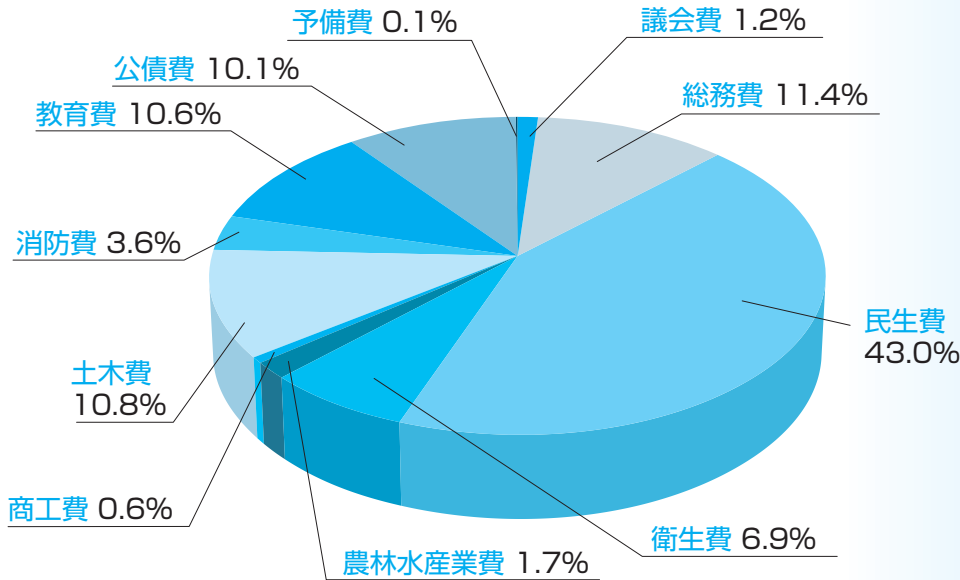
合志市 議会だより 第25号

2012年3月定例会

- 条例、当初・補正予算、請願・陳情 2～5
- 委員会報告 6～11
- 表決結果・賛否表 12
- 一般質問 13～18
- 議会の動き 19

で可決しました

平成24年度一般会計歳出予算



※歳出予算では前年度比97.4%、金額で4億3千3百万円削減されました。
なかでも教育費（前年度比76.4%）、衛生費（前年度比88.1%）が目立ちます。
反面、民生費のウエイトは全体の43.0%で前年度比101.2%と伸びています。
主な要因は、保育所運営費負担金1億9千8百万円、国民健康保険特別会計繰出金1億6千百万円等の増によるものです。

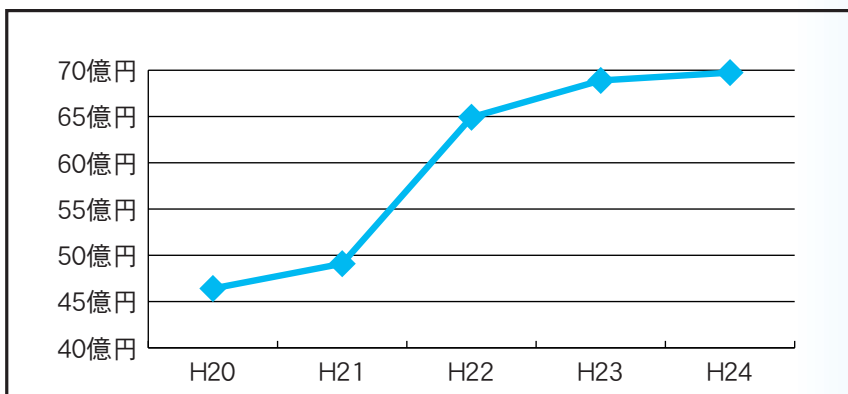
民生費

地方自治体の支出のうち福祉に関する予算項目を指します。
主に、生活保護や児童福祉、高齢者福祉、障害者福祉、母子福祉に関する経費

衛生費

健康増進、疾病予防、環境保全、清掃、などにかかる経費

民生費の推移（H20年度～H24年度）



※民生費は平成21年度から平成22年度にかけて大きな伸びを示し、それ以降は微増傾向が続いています。今後もこの傾向は続くと考えられます。

3月定例会は2月29日から3月21日までの22日間の会期で開催しました。
合志市暴力団排除条例など条例関係11件、24年度一般会計など当初予算関係8件、23年度補正予算関係8件、および合志市道路線の認定、そのほか議案・報告など合計33件が上程されました。
また、請願・陳情について2件を審議しました。
執行部提出案件は、全議案を可決し、陳情・請願2件を採択しました。
最終日に、合志市農業振興地域整備促進協議会条例の一部を改正する条例ほか1件、及び議員提出議案「基礎自治体への円滑な権限移譲に向けた支援策の充実を求める意見書」の提出ほか2件が追加提案され全件可決となりました。
一般質問は11人が市政に関する問題を質問しました。

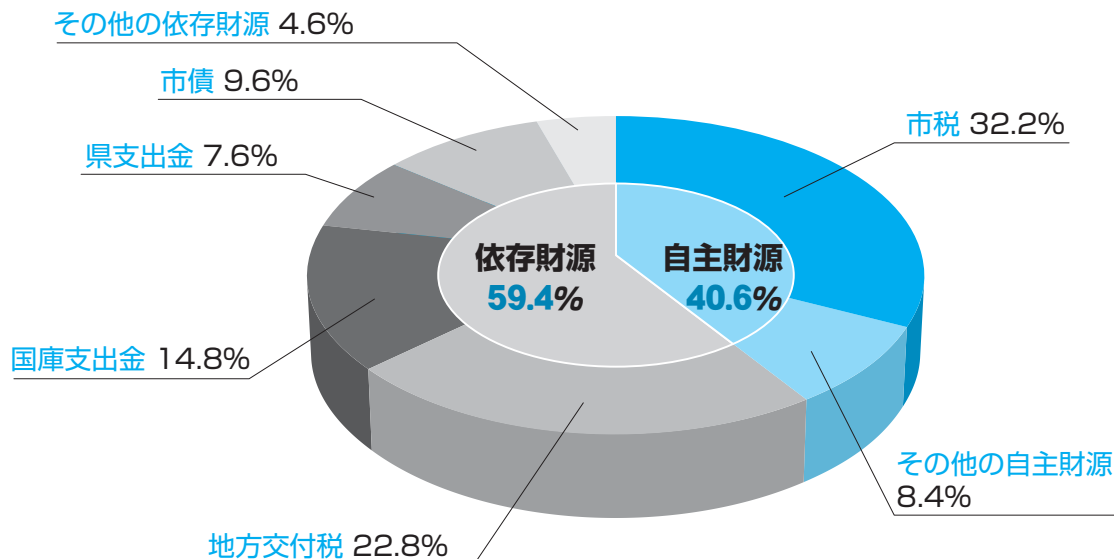
平成24年第1回定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
2	29	水	本会議	市長提出議案上程及び説明
	6	火	本会議	質疑、委員会付託
	7	水	常任委員会	付託事件の審査
	8	木		
	9	金		
3	12	月	本会議	一般質問
	14	水		
	15	木		
	16	金		
	21	水	本会議	委員会報告（質疑、討論、表決）

一般会計予算を議会

(予算額は総額162億3千万円)

平成24年度一般会計歳入予算



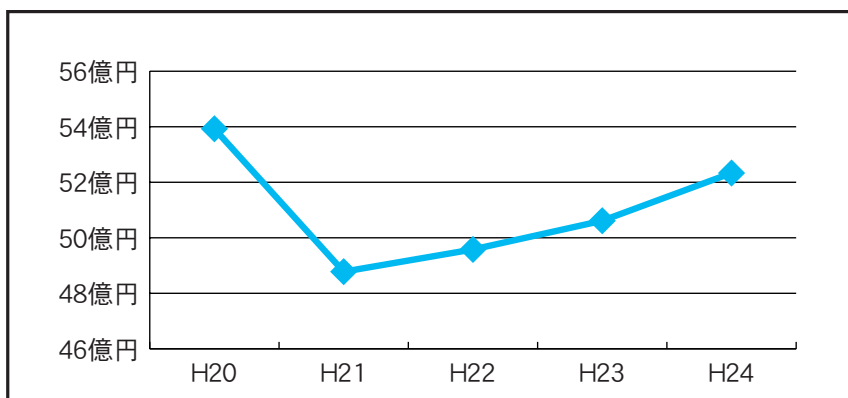
※自主財源の全体に占める割合は40.6%です。

また自主財源は65億9千百万円で前年度比105.9%の伸びを示しています。

市税の内訳は、市民税25億1千8百万円、固定資産税23億3千9百万円、軽自動車税1億9百万円、市たばこ税2億6千5百万円等です。

その他の自主財源とは使用料や手数料、諸収入、繰入金、繰越金等です。

市税の推移 (H20年度～H24年度)



※平成24年度市税の歳入の見込みは52億3千3百万と前年比103.4%と伸びています。

なかでも市民法人税は平成20年リーマンショック以降低迷していましたが、平成22年度以降は回復の傾向が見られます。平成20年度と比較するとまだまだです。

○平成24年度一般会計予算を議会で可決しました。予算が計画どおりいかなければなりません。市民の皆様方の期待に添うよう頑張って

どう変わる？私たちの負担 国民健康保険税条例の一部改正

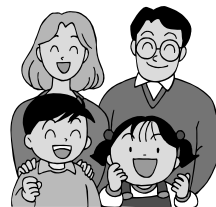
可決

平成24年度、国民健康保険特別会計が医療費の増大等により財源不足を生じるとのことから、国民健康保険税条例の改正が行われました。

条例改正で私たちの負担はどう変わるのか。お知らせします。

モデルケース

4人家族(40才代夫婦、子ども2人)妻の収入なし



国民健康保険税の税率改正による影響				
年 収		400万円	300万円	200万円
所 得		266万円	192万円	122万円
税 額	改正前	44万5,500円	35万8,900円	24万2,400円
	改正後	49万3,800円	39万7,600円	26万8,400円
増額分		48,300円	38,700円	26,000円

※これはモデルケースです。実際の保険税は納税通知書で確認ください。また、今回の議会では介護保険料基準額の月額500円(年間6,000円)の引き上げ、個人市民税の均等割500円の引き上げも可決されました。

その他の主な条例の制定、改正

合志市暴力団排除条例の制定

熊本県と市町村が歩調を合わせて、県内全域で暴力団排除対策を推進するために合志市でも制定

合志市職員定数条例の一部改正

監査事務局定数の1人増員のための改正

合志市税条例の一部改正

復興策の財源として、平成26年度から35年度まで、個人市民税の均等割の税額を500円引き上げる改正

合志市介護保険条例の一部改正

平成24年度から26年度までの介護保険料の改正
この改正で月基準額が4,700円から5,200円へ

合志市営住宅条例の一部改正

公営住宅入居資格の同居親族要件の廃止に伴う条例改正

合志市立図書館条例の一部改正

図書館法の改正により、図書館協議会委員の任命基準を図書館を設置する自治体で定めることになったための改正

合志市下水道条例の一部改正

「排水設備工事責任技術者一括登録制度」が運用開始され、業務の省力化、登録の負担軽減のための改正

合志市水道事業給水条例の一部改正

水道法の一部改正により「布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準」を条例で制定することになったための改正

中学3年生クラスへのエアコン整備費用を含む 平成23年度一般会計補正予算を可決

補正額 8億3,799万円
総額 179億3,400万円

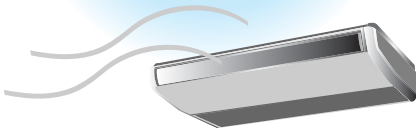
歳入の増額の主な理由は、法人市民税(5億2,200万円)や地方交付税(5億8,853万円)等が追加されたことによるものです。また、当初予定されていた財政調整基金繰り入れ金が減額されています。

歳出の主なもの

中学3年生クラス
エアコン整備事業
4,100万円

市内7小学校
校舎改修事業等
3億5,116万円

西合志南中学校
体育館・武道場改築事業
2億9,158万円



審議しました。あなたの

請願・陳情

地域主権改革による「国の出先機関廃止」の
中止を求める意見書の提出に関する請願

請願者

地域主権改革反対キャラバン実行委員会
実行委員長 紫垣 雅英

採択

国土交通省の地方整備局やハローワークなど国の出先機関の廃止、及び国立病院など独立行政法人の廃止を前提とする改革を中止して、国と地方が協力して住民の安全・安心を確保するために、国と地方の責任と役割を再検討すること等を求めています。

須屋線改良に伴う三ツ石三叉路へ
押しボタン式信号機設置のお願い

陳情者

須屋市民センター執行委員会
委員長 堀川区長 松永 丹
他区長 7人

採択

市道須屋線の児童・生徒の通行量は一日平均400人以上となっています。須屋線改良後の車両通行量の増加により、児童・生徒や一般住民が事故に巻き込まれることのないように、三ツ石三叉路へ押しボタン式信号機の設置を求めています。

※議員提案による「TPP（環太平洋経済連携協定）参加に
反対する意見書」など3件も可決されました。それぞれ国
に対して意見書が送られます。

総務常任委員会

合志市暴力団排除条例について

(反対討論)

警察が一方的に暴力団と認定し、それを排除していくことが法のもと憲法も含め平等なのか。暴力団だから公の場から追放していくのは危険性がある。憲法の論理からまず、予防的な排除に反対の立場から反対する。

(賛成討論)

県内各自治体も制定していく方向に進んでいるし、平和な世の中になるためにも必要であるので賛成する。

合志市税条例の一部を改正する条例について

(反対討論)

基本的には反対ではないが、復興増税を自治体として何に、どう使っていくのか明確でなく一方的な増税になる。具体的な策や方向性をもって提案すべき。

(賛成討論)

23年から27年までの復興期間で復興財源として増税を実施すること、増税はあまり良くないが、仕方ないと考える。

平成23年度合志市一般会計補正予算について

(財政課)

交付税増額の要因は、

答 臨時財政対策債への振り替え額の減額や、市民税の減少及び交付税算定を厳しく見積っていたため。

(市民課)

問 パスポート申請の状況は。

県下で3番目に多く、2月末で、542件の申請があり、1件に15〜20分の時間が掛かり窓口において、他の来客と重なることもあるので、プライバシーの問題も今後考える必要がある。

(環境衛生課)

問 可燃物ごみが増加しているが、対応は。

答 全体的に増加している。人口増や減量化において市民への周知不足があると思われる。今後市民へ分別や、ごみ減量の意識を向上させる策をとっていききたい。

平成24年度合志市一般会計予算について

(財政課)

問 西合志庁舎の受変電設備改修において柱上高圧開閉器(PAS)の交換も含んでいるのか。

答 設計には含んでいないが検討する。

(総務課)

問 通学路の防犯灯設置状況はまた、通学路の設置基準は。

答 毎年通学路については、要望があるのでその都度設置している。



西合志庁舎受変電設備

各自治会内は原則自治会ですが、区長さんと協議の上、設置している。

(まちづくり戦略室)

問 アニメを生かしたまちづくりの状況は。

答 補助金などを使ってもっと具体的なものにしていきたい。

問 市長の運転業務を職員で対応することのことだが、安全面等問題ないのか。

答 今年一年かけて、検討させて頂きたい。

(企画課)

問 地域公共交通で、3年間の実証実験を行ってきたが、今後協議会運営に変化はあるのか。

答 市民代表委員による作業部会で作業を行い協議会に望むスタイルだが、今後は、より専門的知識

を持った委員による作業部会にしたい。

(環境衛生課)

問 ごみ袋の価格の見直しは。また近隣市町との兼ね合いは。

答 合併協議会のとき決めたことだが、環境衛生課としても、協議する。

(反対討論)

情報企画費の住基ネットシステムと須屋支所費の借り上げ料支払いに反対してきたので、認められない。

(賛成討論)

全体的に説明を受け妥当と判断する。住基ネットシステムは、国が進める事業でもあるし、須屋支所土地借り上げ料支払いも、契約に基づくもので正当である。



三ツ石交叉点現場

産業建設常任委員会

平成23年度合志市一般会計 補正予算について

(農業委員会事務局)

問 農地の貸し借り面積は。

答 平成23年度合計で、44万4696平方メートルを予定している。

(農政課)

問 歳入関係で合併特例債を一般財源で対処した理由は。

答 市債の借入で「臨時財政対策債」にまだ余裕があったため、こちらのほうが100%交付税措置されるので切り替えたものである。

(建設課)

問 道路改良等工事の6路線の完了予定年度は。

答 用地が確保できたとして大津植木線が平成24年度、建山2号線及び須屋線が平成23年度、大池植木線が平成26年度、上群中林線が平成27年度を予定している。



委員会審査風景

(都市計画課)

問 耐震対策費について、今年度も申請がなく事情はあると思うが、来年度も同額計上されている。どういうことになっているのか。

答 耐震診断の補助だけでなく改修補修についても現在対応作業を始めており、新年度の早い時期に改修に関する要綱を定めて改修工事の補助もできるように準備を進めている。

平成24年度合志市一般会計 予算について

(農政課)

問 県営畑総事業で運営されている堆肥センターの事業内容や事業実績等は十分精査されているのか。

答 堆肥センターは2か所あり、JAとバイオXが運営している。この事業は県が建設したものを、市が県から譲り受けた形で貸し付けている。5年間でJAとバイオXに払い下げるということで、あと1年で払い下げし、以降は各社での運営となるが、経営的にはいまだ赤字には至っていない状況である。

(商工振興課)

問 ユーパレス弁天の位置づけと今後の運営は。

答 健康増進のための施設として、また集客力を上げ、稼げる施設にする必要がある。さらに地元に愛

される施設としてやっていきたい。意見 現施設を十分活かしていきたい。改修で利用しやすくすれば集客も望めるのではないか。

(建設課)

問 12月市議会で決議された老朽化した舗装の改修についてはどのように当初予算に反映されたか。

答 平成24年度は舗装に力を入れた予算となっている。



スマートインターチェンジ計画付近

(都市計画課)

問 公園関係の費用で、使用料及び賃借料の中身と、遊具点検改修については毎年なのか隔年なのか。

答 土地借り上げ料については、黒石公園の分の120万円と蛇ノ尾公園と竹迫城跡公園の地権者3人分の8万4000円である。

また、公園遊具の点検については、毎年行っている。

平成24年度合志市下水道特別 会計予算について

問 流域関連公共下水道事業で、すずかけ台と杉並台の汚水中継ポンプ場の設計委託が計上されているがその説明を。

答 今年と来年にかけて長寿命化計画ということで平成25年度から5年度の改築更新の計画を作成中である。この2か所の中継ポンプ場は、当時のコミュニティプランの施設を利用してポンプ場に改造してあるので、かなり老朽化している。そのポンプの更新と電気設備の更新をするための設計委託料の計上であり、長寿命化対策の実施設計を来年度予定している。

問 下水道事務等地方公営企業会計移行事務とあるが、水道事業と同じ会計にすることか。

答 下水道も3年間で公営企業会計に移行することになる。

健康福祉常任委員会

合志市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

問 近隣市町の状況は。

答 平成24年度は合志市と菊陽町が税率を改正し、同じ条件（4人家族、夫40代・給与収入、妻40代・収入なし、子ども2人）では、熊本市・菊池市・大津町は昨年改定しており、24年度税額は熊本市415,000円、菊池市401,400円、大津町386,400円。菊陽町は2年連続の改定で23年度385,800円、24年度は401,700円で計42,900円の値上げ。合志市は23年度が358,900円で、24年度が397,600円の38,700円の値上げとなる。

問 国保加入者は何割で、どのくらいの年収の人が多いのか。約10%税率が上がった場合の徴収率の予測と保険料を払えない人の対策は。

答 国保加入者は2月14日現在13,657名、約25%。200万円以下の所得の方が約8割。徴収率は91%見込んでおり、23年度より若干低い率ですが税務課に頑張ってもらいたい。保険証の取り扱いは、納期限を1年過ぎた人には短期保険証（通年ではなく、3か月もしくは6か月）を、

悪質な人には資格者証を渡している。滞納については呼び出しもするが、戸別訪問で面会して短期保険証を直接交付するようにしている。短期保険証が増えると考えている。収納率は、19年度94.06%、20年度91.27%、21年度90.19%、22年度91.43%、23年度は2月末現在、昨年が86.84%だったのが87.68%と約0.84%上がったっており、最終92%近くまでいくと予測している。19年度から20年度の大減は、20年に後期高齢者医療が始まり納税意識の高い層が移ったのと保険税の改正にある。目標は高い方がいいが難しく、22年度の91.43%程度は確保したい。

合志市介護保険条例の一部を改正する条例について

問 介護報酬の改定率が当初の12%から0.7%になったことで5189円になっているが、切り捨てと切り上げでは大きく違う。策定委員会の意見と、5100円と考えなかったのか。

答 策定委員会からは、この件に関して特段意見はなかった。5189円は1人当たりの月額で、被保険者は約1万人以上おり、3年間89円を切り捨てて計算する

ると介護保険の財政上非常に厳しいものがある。

平成24年度合志市一般会計予算について

（福祉課関係）

問 委員会では施策評価で緊急雇用対策を引き続き行い就労支援を強化するように指摘した。生活就労支援は大きな成果を出している事業だが、今年度の実績と、住宅手当緊急特別措置事業で24年度どのようにそれが反映されているのか。

答 住宅手当緊急特別措置事業は全額国負担である。離職することと住宅手当を受給される方とともに、生活保護の対象者も就労支援を利用して良いので、7か月でハローワークに同行や自宅訪問、就労勧奨、電話喚起等で300件を超える接触を行い、1人が就労して生活保護から脱却、6人が就職されて収入認定額との差額を支給している。また、就労支援で職業訓練校に3名行っている。就労支援員を去年は7月から配置したのを、24年度は4月から配置する。

（子育て支援課）

問 認可外保育所に助成を増額する考えはないか。

答 23年度事業仕分けに認可外保

育所助成事業を出したところ、『運営が厳しいので増額すべきではないか。』と言う意見もあったが、『今現在、合志市が厳しい財政状況なので現状維持』という回答をいただいている。さらに、子育てシステムの導入で根本的に変わってくると思われる。

平成24年度合志市国民健康保険特別会計予算について

問 国の特定健診の受診率目標は24年度までに65%だが、合志市は目標に近づけるためにどのような努力をするのか。

答 24年度は目標を41%に置いている。65%は難しいが、国が目標にしている以上は啓発などいろいろな形で少しでも近づけたい。



特定保健指導

文教常任委員会

合志市立図書館条例の一部を改正する条例について

問 図書館協議会委員の任命について。

答 図書館法第15条、第16条が改正され、自治体が定めることとなった。

平成23年合志市一般会計補正予算について

(学校教育課)

問 国の第3次補正予算に伴う継続費補正の年割額について。

答 西合志南中学校体育館、武道場改築事業において継続費の総額は変更ないが、2億9600万円が平成23年度事業として採択されたので、年割額の補正を行なった。

(生涯学習課)

問 総合センターの電気代の増額補正について。

答 平常の電気代は、月150万円程度だが、夏場、冬場のピーク時には200万円を要する月もある。市内外からのヴィーブルの利用が増えていることが考えられる。

(人権啓発教育課)

問 地域人権教育指導員について。

答 指導員の病氣入院のため15か月分の報酬の減額分である。

平成24年度合志市一般会計予算について

(学校教育課)

問 コミュニティスクールについて。

答 地域の方々の様々な力をお借りして、学校単位で地域にコーディネート者を配置し、組織的に運営をしていながら子どもたちの学力向上につなげていきたい。

ことば教育について。

答 市のまちづくり提案制度による第1号の認定事業であり、4月からの導入に向けて検討を進めている。家庭でも地域でも、ことばを大事にした教育が展開していれば本市の教育に効果的である。

(生涯学習課)

問 子どもフェスティバル実行委員会の補助金の減額について。

答 子どもフェスティバル実行委員会を組織している中で充分論議をした上で10万円の減額をしても実行できる予算である。

問 西合志図書館改修事業について。

答 図書館が建設されて17年が経過しており、屋上の表面が劣化しており、防水改修を行なう。



西合志図書館屋根

(人権啓発教育課)

問 部落解放同盟合志支部補助金、全日本同和会合志支部補助金について。

答 部落差別をなくすことは、国民としての目的でもある。日本特有の差別でもあるし、差別をなくすための活動をしている団体への補助金なので必要な予算である。

問 解放子ども会学習会の講師謝礼及び消耗品費について。

答 講師の先生は、情熱を傾けて指導されている。子どもたちの学力を高めるための教材であり、教育啓発のために必要な予算である。

(反対討論)

基本的に部落差別が解消されている中で、補助金が支出されれば差別が固定化される。教育啓発以外に会議や集会参加にも支出されている。解放子ども会開催事業については本市のすべての子どもたちに平等に教育の機会を与えるべきで全市民的な子どもたちの基礎学力の向上のために予算を執行すべきである。

(賛成討論)

いまだなくならない、差別の問題や他にも色々な人権問題がある。理不尽な差別により、こころの葛藤で苦しんでいる子どもたちに対してより、一層の差別の解消に向けて教育啓発のための予算である。



給食センター工事

議会運営委員会

平成24年2月13～14日 大分県佐伯市・臼杵市

【視察委員】
委員長 吉永 健司
副委員長 木村 祐一
委員 島田 敏津子
委員 松井 美津幸

委員 海本 来
委員 坂口 武
委員 濱口 正
委員 池永 幸
委員 子人 曉
委員 惠武 正
委員 幸生 幸

議会運営について

議会運営委員会は、平成24年2月13日大分県佐伯市議会、14日同県臼杵市において、議会改革について視察を行いました。

議会運営の改革、活性化等において先進的な取り組みがなされており、議会から政策立案を目的に政策研究会を設置し、毎定例会ごとに課題を決め、分析・研究を経て、予算あるいは条例等を提出制度や議会モニター制度の設置という取り組みや政策討論会を設置し、



臼杵市研修

各常任委員会の総意で選定した行政課題を、市長、副市長、教育長に対し、自由な意見交換や討論を行ない、具体的な施策に反映させる機会をつくる等、議会基本条例

を施行し改革に取り組む佐伯市、条例ありきではなく改革に取り組む臼杵市という2市を視察できたことは、有意義でした。

合志市議会においても、真の議会改革に取り組むために、研究を重ね、独立性と多様性のある実行性に優れた方向性を見いだすべく、議論が必要と感じられた視察でした。



佐伯市研修

議会活性化調査研究特別委員会

平成24年1月26～27日 山口県防府市・福岡県大牟田市

議会改革について

1月26日 山口県防府市議会

防府市議会では、平成21年に監視機能の強化、政策立案機能の強化、市民に開かれた議会、市民と協働する議会の4テーマを掲げた議会改革推進協議会が設置され各会派から委員が選出されていた。各会派から提出された項目を協議決定し、難易度の高い項目は議会基本条例を協議する中で検討され、平成22年12月に条例制定、平成23年4月に施行されていた。

施行後、議会報告会については自治会と共催し実施されており、市民団体等の申し込みで行なう議会懇談会、議会内で討論拡大を図るための議員間討議や政策討論会が行なわれていた。



防府市研修

2年余りかけて議会基本条例の施行に至っており、数多くの作業部会開催と議会改革推進協議会での報告や協議が行なわれていた。

1月27日 福岡県大牟田市議会
大牟田市議会では、平成21年に

議会改革特別委員会が設置されており各会派から委員が選出されていた。まずは各委員が改革への共通認識を持てるため、京都府京丹後市議会や三重県伊賀市議会への先進地視察や議員研修会が実施されていた。また、市民アンケート調査を二十歳以上を対象として2千枚配布、52.2%と高い回収率であった。

平成22年8月に議会基本条例の骨格案が作成され、市民団体との意見交換会や市民懇談会が開催されて同年12月議会で可決し、翌23年2月から施行されていた。

策定後の取り組み事例として、政策等調整委員会を地方自治法の協議、調整の場として位置づけており論議、合意形成された事項が市長に申し入れされていた。

合志市議会においても、最も相応しい議会改革を推進するため、更なる論議を重ね一丸となつて取り組むべき次第であります。



大牟田市研修

議会広報調査特別委員会

平成24年2月8～9日 鹿児島県伊佐市・始良市

【視察委員】

委員長
副委員長
委員
委員

島田 敏春
後藤 修一郎
濱元 幸一
松本 龍博
西 隆博

議会広報編集方針等について

2月8日 鹿児島県伊佐市議会

伊佐市は、平成20年11月1日、

大口市と菱刈町が合併し、面積3

92・36平方キロメートル、人

口29571人、主な産業は農業

であり、人口は減少傾向で高齢化

率も36%というような地域でした。

広報委員会は、各常任委員会か

ら2名の6名で構成されていた。

広報紙をいかに読んでいただ

るかという問題意識を持って様々

な創意工夫が行なわれており、写

真と名前付きで『議会を傍聴して』

と題して住民の声を掲載したり、

また特集記事で一般質問の追跡調

査を行ない過去に取り上げられた

問題がその後どうなったかが掲載

されていた。



伊佐市研修

2月9日 鹿児島県始良市議会

始良市は、平成22年3月23日、

始良町・加治木町・蒲生町が合併

し、面積231・32平方キロメ

ートル、人口75651人、鹿児島市に隣接しており交通の便も非常に良い地域でした。

広報委員会は、各常任委員会か

ら2名の8名で構成されており、

始良町時代には広報全国コンク

ール優秀賞を受賞されたこともあり、

合併後も広報に大変力を入れてお

られ、オールカラーであり、写真

も鮮やかで表紙の重視や現代かな

づかい及び力タカナを多用しない

等がなされていた。伊佐市と同様

に過去に取り上げられた問題が、

その後どうなったかが掲載されて

いた。



始良市研修

所感

今回の視察研修では、広報紙を

いかに読んでもらうかということ

で、大変研究・努力がなされてい

ることに感心させられました。

広報委員会としても、参考とな

ることは充分検討していきたいと

思います。

議 決 帯 付

より良い国民健康保険制度を維持するため、
次の3議案に対し付帯決議を付けて議決しました。

議案第4号 合志市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

議案第21号 平成24年度合志市一般会計予算

議案第22号 平成24年度合志市国民健康保険特別会計予算

付帯決議の内容

(1) 国民健康保険税の収納率の向上と滞納解消に努めること。

(2) 「健康都市こうし」を基本に特定健診の受診率向上と更なる健康づくり施策を推進し、結果を出すこと。

(3) 納期の回数の細分化等、被保険者の税負担感の緩和に資する対策を今後の検討課題とすること。

※ 付帯決議とは

議案を議決するに当たって意見や要望を付けること。

平成24年第1回定例会
主な審議案件と議決結果

	審 議 案 件	議決結果
条 例 13件	合志市暴力団排除条例 ほか 12件	原案可決
予 算 16件	平成23年度合志市一般会計補正予算(第4号) ほか 15件	原案可決
協 定 1件	合志市公共下水道須屋浄化センター及び塩浸川浄化センターの建築及び改築工事委託に関する協定の一部を変更する協定の締結	原案可決
その他 3件	菊池広域連合の処理する事務及び規約の一部変更 ほか 2件	原案可決
請 願 1件	地域主権改革による「国の出先機関廃止」の中止を求める意見書の提出に関する請願	採 択
陳 情 1件	須屋線改良に伴う三ツ石三叉路へ押しボタン式信号機の設置のお願い	採 択
議員提出 議案 3件	「基礎自治体への円滑な権限移譲に向けた支援策の充実を求める意見書」の提出 ほか 2件	原案可決
報 告 2件	専決処分(損害賠償に係る額の決定)の報告 ほか 1件	報告終了

賛 否 表

- 議案第 1号 合志市暴力団排除条例
- 議案第 3号 合志市税条例の一部を改正する条例
- 議案第 4号 合志市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 議案第 5号 合志市介護保険条例の一部を改正する条例
- 議案第13号 平成23年度合志市一般会計補正予算(第4号)
- 議案第21号 平成24年度合志市一般会計予算
- 議案第22号 平成24年度合志市国民健康保険特別会計予算
- 議案第23号 平成24年度合志市介護保険特別会計予算
- 議案第24号 平成24年度合志市後期高齢者医療特別会計予算
- 議員提出議案第 1号 「基礎自治体への円滑な権限移譲に向けた支援策の充実を求める意見書」の提出
- 議員提出議案第 3号 「地域主権改革による『国の出先機関廃止』の協議を求める意見書」の提出

	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	結 果	表決数	西 島 隆博	松 本 龍一	後 藤 修一	濱 元 幸一郎	上 田 欣也	青 木 照美	坂 本 早苗	尾 方 洋直	濱 口 正曉	坂 本 武人	吉 永 健司	神 田 公 司	来 海 恵子	木 場 田 孝幸	松 井 美津子	木 村 祐一	今 村 直登	丸 内 三千代	東 孝 助	島 田 敏春
議案第 1号	可決	19:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 3号	可決	16:4	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○
議案第 4号	可決	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○
議案第 5号	可決	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○
議案第13号	可決	18:2	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	可決	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○
議案第22号	可決	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○
議案第23号	可決	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○
議案第24号	可決	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○
議員提出議案第1号	可決	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○
議員提出議案第3号	可決	19:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○

※起立採決を行ったものに限ります。(○は賛成 ●は反対)
※池永幸生議員は議長職のため、表決には加わりません。

小中学校の大規模化への対応を！

神田 公司 議員



神田 住宅開発が合志南小校区、西合志東小校区で進んでいる。小中学校の適正規模とはどのくらいなのか。また大規模化する小中学校への対策は。

教育部長 12学級以上、18学級以下を標準とする提言もある。西合志東小、西合志南小、合志南小、南ヶ丘小はいずれもこの標準を超えている。「適正か」と言われれば「適正ではない」。大規模化の対策では特別教室を普通教室に改造する。また最近では西合志中央小で2教室の増築を行なっている。合志南小では校区で宅地の大規模開発が進められているので、6教室の増築の予算を組んでいる。

神田 大規模化の解消方法のひとつは校区変更、もうひとつは小中学校の新設だ。5年後10年後どのように児童生徒数を予測しているのか。その中で、旧合志、旧西合志という枠にとられない校区変更、あるいは小中学校の新設を考えているのか。

教育部長 5年後もまだ児童生徒数

は増加をするという予測を立てている。校区変更はひとつの選択肢ではあるが、

西合志東小、西合志南小、合志南小、南ヶ丘小と6000名〜10000名を超える大規模校になっているので、校区変更ではいかんとも

したい。小学校に中学校も合わせると今後は考えていく必要がある。校区の将来人口を予測しながら大規模化における様々な課題・問題を整理すること。そして現在の小学校の敷地、教室で足りるのかどうか。不足するとした場合に校舎の増築で対応可能なのか。敷地はあるのか。仮に小中学校の建設となった場合の敷地、財源あたりも含めて様々なシミュレーションを行ない、今後の小中学校のあり方を関係各課と協議をしていく。



大規模化が続く西合志東小学校

全ての子に光を！学力向上について

来海 恵子 議員



来海 子どもたちの学力と体力の現状は。

教育部長 平成23年度実施された県学力調査の結果から、6年生は国・算の知識問題は県平均を上回っているが、活用問題は下回っています。中学3年生は、国・英・数は概ね県平均を上回っています。中学の英語は学力は余り良くなかったが、今年度かなり改善されました。学力・体力とも2極化の傾向です。

来海 基本的な生活態度・基礎学力の習得はどれくらいできていますか。

教育部長 ほぼ、8割から9割できています。

来海 私は出来ていないと思います。親や教師が挨拶をしないと、子どもは挨拶をしません。子どもは大人の背中を見て育ちます。まずは大人から挨拶が必要だと思います。大刀洗町では、人が困っている時に助けてあげる子があげない子より学力が20ポイント高い。挨拶する子がしない子より学力が16・8ポイント高い調査結果が出ています。豊後高田市は

10年前まで学力は大大県でビリでしたが、どの子の学力も上げようという取り組みを行いこの4年間はトップです。豊後高田市の他にも大刀洗町や人吉市で、放課後無料で希望者に勉強を教えています。中学3年生には、受験用に夏期講座や冬季講座も開いています。合志市でも出来ないでしょうか。

教育部長 合志市では地域の方々に学校応援団になっていただき、「合志版コミュニケーションスクール」を推進します。夏休みには、「サマースクール」を取り入れたいと思っています。

来海 子どもたちは、「大人も良いが、ちよっと上の人達の話は素直に聞ける！」と言います。高校生や大学生の青少年リーダーや「人材（財）バンク」の活用もお願いします。



青少年リーダー

食育から始めよう、健康都市こうし、稼げる市

上田 欣也 議員



上田 学校給食費の口座振替が、肥銀コンピュータに決定した経緯は。

教育部長 出納事務を行ってきた学校司書を順次非常勤職員に置き換えるので、PTA会長との協議、保護者アンケートを通じて、全校統一、口座振替に移行することを決めた。肥銀はシステムに優位性があった。

上田 1件当たり84円、合計で年間500万円以上の手数料になる。肥後銀行は包括提携先なので、ビジネスとして見返りも期待すべきだ。給食費以外の市の負担は。また給食の調理員さんは、充実しているか。

教育部長 調理員の報酬、光熱費などで児童生徒一人当たり月3700円かかっている。また調理員さんは、センターと単独調理場合わせて、市職員が28名、非常勤が36名だが、熟練者が少なくなっている。

上田 生徒数増への対応は。

教育部長 単独調理場の施設はその都度更新。人員は非常勤で対応している。

「生活習慣病の予防改善」や「地産地消」を織り込んだ食育推進基本計画を作成しようではないか。児童生徒数が予想以上に増加している校区があるが、今後の予測はきちんとできていくか。また対策は。



合志南小の給食の様子

教育部長 様々なデータから推定児童数を割り出した上で、南小の6教室増築を予定している。

市長 情勢はここ数年で大きく変わっているが、平成27年が人口のピークということでまちづくりが進んでいる。校区見直し、学校新設は簡単に答えを出せない。

上田 小学校を作るということではなく、将来的には高齢者向けに利用できるような自由度の高い計画にすることも考えられるのではないか。

インフラの老朽化について

松井美津子 議員



松井 妊娠はできるのに、赤ちゃんがお腹の中で育たず、流産、死産を繰り返してしまうことを不育症というが、相談窓口の設置とヘパリン注射の周知について伺う。

健康福祉部長 市として具体的な取り組みは行っていないが、熊本市の女性センターに相談窓口があるので案内をしたい。

松井 地域おこしと男女の出会いの場として、広域で街コンを考えてはいかがでしょうか。

政策部長 本市には商店街がないが、地域ブランドのうまかもん店や農業の魅力を街コンのようなやり方でアイデアを出せると思う。市民の中におせっかいおばさんを登録して男女の交際を進める取り組みも行なわれている。

松井 公共交通の不便な地域に住んでいるいたり、車の運転ができなくなったり高齢者のための買い物支援について。

産業振興部長 商工会では宅配をする余裕がないが、宅配サービスの事業所が7社ある。高齢化が進む中、

商工会や企業の会議の中で問題提起をしていきたい。

松井 インフラの老朽化が進んでいるが、上下水道の老朽化や築30年以上の建物、施設の管理状況、建て替え計画ファシリティー・マネージメントの導入について。

総務部長 築30年以上の施設は24施設ある。

当面は、現状維持で所管の課が管理、改修しているが民間委託も含めて考えていきたい。



屋根（西合志図書館）

松井 新規就農総合支援事業の「青年就農給付金」の取り組みについて。

産業振興部長 本市で、人、農地プランを作成して、地域の担い手としてこのプランに位置づけ、給付金を受け取れるようにしたい。

介護保険料の値上げ中止と 利用料の負担軽減を！

濱元幸一郎 議員



濱元 今回の議会には、介護保険料の値上げの条例改正案が提案されている。「もうこれ以上の負担増はたえられない」との声が寄せられている。今回の値上げが、高齢者の方々にどのような影響を及ぼすと認識しているか。

健康福祉部長 生活実態として、経済的に厳しい状況が続いていると十分認識している。保険料率の見直しを含めできる限り公平な負担を頂くと、限度額によって減免も含めた対応をお願いしている。

濱元 高齢者のみなさんの負担はもうすでに限界だ。今年は年金も大幅に削減されようとしている。さらに後期高齢者医療保険料も値上げされる。消費税の増税や高齢者の医療費窓口負担の引き上げまで検討されている。合志市には40億円の貯金もある。一般会計からの繰り入れを行っても保険料の引き上げは行わずではないと考えるがどうか。

市長 年間の予算は決まっている。増やす話ばかりはパイが決まっている。

るからなかなか厳しいものがある。税の公平性もある。だから今のシステムのなかでどうやってやっていくかということで議論し結果を出させて頂いている。

濱元 介護保険サービスを利用するときの1割の自己負担が大変で、サービスを受けたくても受けられない実態がある。合志市独自の介護保険利用料の減免制度を作るべきだ。市役所は介護を巡る劣悪な実態をつかんでいないと感じる。実態把握を行うべきだ。

健康福祉部長 社会福祉法人等による利用者負担の減免、高額サービス、医療との合算減免等があるため、市独自の減免は考えていない。
市長 実態の調査については指示をしたい。



中学一・二年生の武道必修化 四月実施は大丈夫か！

濱口 正暁 議員



濱口 平成20年改定の学習指導要領が今年4月から全面实施となり、その中で保健体育の授業時間が大幅に増え、男女ともに「武道の必修化」が実施されます。報道等によれば武道の中で柔道の事故が他の種目と比較して突出して高いと言われている。実施にあたって、①武道が必修となった理由②合志市における種目と用具の準備は③事故防止対応は④指導教師の確保は出来ているのか。

教育部長 ①は教育基本法が改正されたことに基づき生徒の生きる力を養うことおよび伝統と文化の尊重を強調させるため。②男女ともに、合志中・西中は柔道、西南中は剣道とし、用具について柔道着は個人負担、剣道防具セットは市で準備する。③事故防止に対しては男女別々に授業し、新1年生に対しては武道の礼儀から入り基本動作の受け身等に十分時間を取って進め、更に授業開始前の生徒の体調確認を取るよう指導する。また、教師については「指導者養成研修及び県の安全講習会」の実施をするようにしている。

教育長 ④合志市における指導教師

は現時点では足りており外部講師については考えていない。また、カリキュラムは年間8時間程度の枠として各学校で計画し、頭部外傷の恐れのある大外刈り等の技は禁止する。



受け身指導の様子

合志市における補助金の実態は
濱口 合志市の平成24年度予算における各種団体、個人に対する補助金で①総件数と総額は②部単位で上位3部は③成果報告とチェックは④財源の内容は

総務部長 ①平成24年度予算162億円中122件で4億9千万円(3%)。
②健康福祉部(2億1千万)、教育委員会(1億2千万)、産業振興部(6千万)
政策部長 ③事務事業として捉え、目標達成度、有効性、効率性、公平性等で評価し、市の活性化に寄与させている。
総務部長 ④財源は、一般財源(3億6千万円)、国・県の支出金(1億2千万円)、その他(1千万円)となっている。

市民サービスの向上について

今村 直登 議員



「かえどの森いづも園」について

今村 2月1日から恵楓園内に「かえどの森いづも園」が開所した。認可保育所にできなかったのか。

市長 「こども園」とも色々協議しましたが、無認可保育所を堅持したいとの発言があり、無認可となった。

小中学校のインフルエンザ対策について

今村 今年もインフルエンザが全国的に猛威をふるっているが、本市の状況は。

教育部長 小学校5校、中学校1校で学級閉鎖があっている。

今村 佐賀県有田町でヨーグルトを食べさせ、インフルエンザ発症抑制に効果を上げている。本市でも活用できないか。

教育部長 有田町では「R-1」という乳酸菌の入ったヨーグルトを食べさせ0・64%の発症で近隣の伊万里市や嬉野市では10・48%となっている。予防としての効果が上がっているようだが、本市では財政面から考えると実施はむずかしい。

市営住宅について

今村 市営住宅の入居申し込みのあり方について、改善の余地はないか。

都市建設部長 現在は、空室が出れば広報等で募集を行ない、抽選を行ない、はずれた人には、1年間の補欠番号で待機してもらっている。これでよいかは検討したい。

市民サービスについて

今村 自治会に加入していない家庭への広報等の配布について、現在はどうのように対処しているか。

総務部長 広報こうし等は両庁舎、公共施設、コンビニ等で38か所、約1000部を配置し、個別に持って帰ってもらっている。



環境フェスタについて

丸内三千代 議員



蓬原工業団地について

丸内 ①ごみ減量化計画どおりには進んでいない。②不法投棄の増加。③買い物袋持参率の向上等課題がある中、24年より隔年開催とした理由は。

市民部長 一定の成果があったこと、予算的なこと、集客等を考慮してのものである。今後は市民主導型のイベントになるよう検討する。

丸内 今予算においても廃棄物処理に係る費用は組合負担金を含めて約5・5億円の予算です。24年度環境行政予算は前年より減額予算になっている中、平成27年度までに一般廃棄物20%削減目標を達成できるか。

市長 環境問題は、市民の関心と協力が大切である。補正予算を組んでも、環境フェスタはなんらかの形で毎年開催できるように継続していきたい。また、ごみの20%削減については、努力して目標達成できるよう市民に説明をし、ご協力いただきたい。



丸内 平成21年、3年分割で合志市所有の土地4・8ヘクタールを合志技研株式会社と譲渡契約を結び今年3月最終支払いとしている。今後、この土地利用計画が遂行されること企業が誘致の礎となるものと期待しているが、取り組みは。

産業振興部長 3月13日契約履行がなされた。今後は合志技研と話し合いをし、合志技研の土地と共に一体的に地区計画、開発行為等一緒に進めていく。

丸内 企業誘致優遇政策だけでは企業は来ない。市長のいう健康ファクトリー構想に沿いながら合志の特性をフルに活かし、地元企業との連携を指導育成しながら市を売り込んでいただきたい。

市長 良い意味で合志市は誘致しやすい条件が揃っています。環境を守りながら雇用の創出し、固定資産税の増収を見いだせるためにも頑張りたい。

地下水涵養

青木 照美 議員



青木 竜門ダムの貢献度は。

産業振興部長 ダムより農地へ配水し15年経過した。年間1千トン程度、地下水涵養に貢献している。

青木 水質保全に対しての企業のCSRは。

産業振興部長 セミコンテクノパークの地下は地下水盆がある。企業に対しては水のリサイクルに努める様に指導している。また企業によって植林事業に参加している。

青木 地震と水質との関連は。

水道局長 地震が起きると、震動により土や砂が水源地に入り濁ることがある。今年3月の地震でも濁りを生じた水源地があった。

青木 堤の管理計画は。

産業振興部長 市内には十箇所の堤があり、農業や防火用に役立っている。上庄の堤は平成23年の集中豪雨で痛んだ。平成27年度に浚渫と土手の改修を行なう。野付の堤は、水草の除去を旧年実施した。以後は検討する。

青木 上庄の空き家を利用した事業とは。

政策部長 現在、市内には一戸建ての空き家が620戸もある。放置すると防犯上もよくない。新規事業として「地域再生拠点創造事業」を始めた。たばこ屋さんの空き家を改修し各大学や地域の人と協力し「農業」と「食」を活かした地域づくりを計画している。地元より遊休農地を4.2ヘクタール借用し、スイートコーンや黒大豆を栽培する。上庄の農家より指導を受けながら、遊休農地を活用して農業実習を行ない、地域内外の交流の場をつくる。この事業が空き家解消、遊休農地

解消のモデルとなるれば、これからの地域づくりに大いに役立てる。



上庄空き家利用事業

合併5周年 記念事業の成果は？

坂本 早苗 議員



坂本 合併5周年記念として開催された事業と費用、その成果は。

総務部長 毎年実施している事業、新たな事業あわせて8本のイベントを開催しました。①合志市産業祭「すいか祭り」②NHKのご自慢③アラジンと魔法のランプ影絵劇④JT小中学生バレーボール教室⑤合志市夏祭り⑥出張なんでも鑑定団⑦合志市男女共同参画気づきうなぎフェスティバル⑧合志市環境フェスタです。合計約2617万円、参加者26900人です。財政的に負担をかけないで、各課で行っている祭りを選び市内外に合志市をPRできた。

坂本 合併5周年の最大のイベントは夏祭りでしたが、今後の開催は。

政策部長 24年度は8月17日に農業公園で開催予定です。レーザービームの特殊効果花火、合志音頭・千人総踊り等を予定しています。

坂本 24年度の環境フェスタは中止予定ですが、他のイベントと合同での開催や、規模を縮小してまじめに環境問題を考えるイベントとして取

り組んではどうでしょうか。

市民部長 24年度中に関係者との会議を行い、再検討いたします。

安全な自転車走行を！

坂本 交通事故件数が減少する中で、自転車対歩行者、自転車同士の事故が増加しています。自転車通学が多い中学校ではどのような指導を行っていますか。

教育部長 自転車利用者の交通ルールとマナーの周知、反射材たすきの着用などの指導を行っています。特に自転車通学が全体の95%を占める合志中学校では生徒指導主事と自転車担当教諭を置いて交通指導を行っています。下校時には自転車歩道の混雑を解消するために一斉下校ではなく一定間隔を持たせて下校させるなどの指導も行っています。



夏祭り

T P P に つ い て

松本 龍一 議員



松本 参加国との間で、どのような交渉がなされているのか。また国会内の動きや、今後の展開について。

産業振興部長 参加を表明している9ヶ国の内、6ヶ国から参加の支持を得ているが、アメリカ、オーストラリア、ニュージーランドとは、まだ交渉中である。今後交渉が終了して、参加が認められれば、国会での批准（議決）ということになる。国会においては、賛成・反対が半々のようである。合志市においても、農業等には不利であるが、半導体関連には有利な面もあり、国が総合的に判断して決めるものと思われる。そのため市民一人一人が、この問題について知識を深め、よく考えて国会議員に進言してゆくべきであろう。



農業用燃油について

松本 石油価格の高騰、この冬の厳しい寒さにより、施設園芸農家等のA重油・灯油等の使用量が増大し、

経営を圧迫している。農産物価格の低迷、生産資材価格の上昇もあり、市や国で対策ができないか、検討をお願いしたい。

産業振興部長 前回、平成20年に石油価格が上昇した時、国の緊急対策と合わせて市でも補助を行なったが、今回はまだその時の状況には至っていないので、補助を行なう考えはない。ただ燃油価格の高止まりが続いているので、価格を安定化するための基金については、今後検討していきたい。

メンタルヘルスについて

松本 健康に対して、肉体的だけでなく、精神面（メンタルヘルス）についても注意をはらうべきではないか。市職員の現状と対策は。

総務部長 職員のなかには、うつ病や潜在的うつ病の人が、ある程度いるが、正確には確認していない。対応として、職務配置や職場環境に心がけ、部署内での見守り、声かけ、コミュニケーション等に気を配っている。

あん質問はどぎゃんなった追跡

一般質問で以前取り上げたことが実現しました。

地産地消、消費拡大や健康づくりの観点から農政予算から給食の牛乳を250ccにできないか。
(一般質問 平成22年12月議会)

中学校牛乳250ccに

- 中学校給食用牛乳増量の状況
50cc増量分を市が助成
平成23年度 7～9月分実施
平成24年度 6～9月分実施予定



市が開催するコンサートや講演会などに託児所を設けては。

(一般質問 平成22年9月議会)

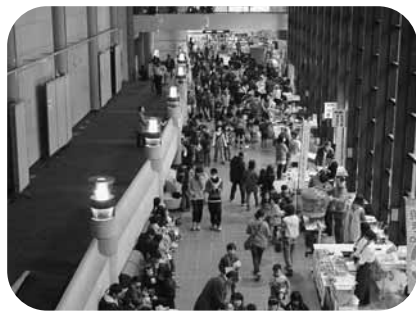
市が開催するコンサート等に託児所設置

○市主催等行事事業実施状況

平成22年度 6回実施 45人
合志市青少年教育特別講演会 等

平成23年度 5回実施 34人
合志市ハンセン病啓発事業講演会 等





● **子どもフェスティバル**
2月26日(日)、午前9時から
ヴィーブルで行われました。
約1800人の子どもたちの
参加がありました。



● **竹迫初市**
2月26日(日)、午前9時から
合志庁舎前で行なわれました。
約2000人の来場があり、
セレモニーや出店で賑わいました。



● **小中学校卒業式**
3月10日(土)市内の中学校、
3月22日(木)小学校で卒業式
が行われました。
小学生601人、中学生
576人が卒業しました。



● **小中学校入学式**
4月10日(火)市内の小中
学校で入学式が行われました。
新小学生657人、新中学生
579人が入学しました。

前回の議会だよりで誤りがありましたので訂正しておわびします。

3ページ 議員提案

市道の舗装老齡化に → 市道の舗装老朽化に

4ページ 請願・陳情

市街化調整区域内の都市交通等の
→ 市街化調整区域内の都市計画法の

6ページ 健康福祉常任委員会

もみじ園については27㎡以下で
→ もみじ園については275㎡未満で

議会の動き

(1月～3月)

【1月】

- 11日 次世代育成支援市町村トップセミナー(熊本市)
議会広報調査特別委員会
- 12日 議会運営委員会
- 17日 議会活性化調査研究特別委員会
《第3小委員会》
- 19日 議会広報調査特別委員会
- 20日 全員協議会
- 25日 議会広報調査特別委員会
- 26～27日 議会活性化調査研究特別委員会(山口県、福岡県)
- 30日 議会広報調査特別委員会
- 31日 佐賀県小城市議会より
「議会活性化特別委員会と
議会基本条例について」視察研修
- 31日～2月1日 熊本県市議会議長会研究会(熊本市)

【2月】

- 2日 京都府久世郡久御山町議会より
「事務事業・施策評価について」視察研修
議会活性化調査研究特別委員会《第2小委員会》
- 6日 議会活性化調査研究特別委員会《第3小委員会》
(宇城市)
- 7日 愛知県稲沢市議会より
「自治基本条例について」視察研修
- 8～9日 議会広報調査特別委員会(鹿児島県)
- 10日 蒲島熊本県知事との意見交換会(熊本市)
- 13～14日 議会運営委員会(大分県)
- 15日 全国市議会議長会第127回地方財政委員会
(東京都)
- 20日 全員協議会
議会活性化調査研究特別委員会
和歌山県由良町議会より
「農商工連携事業について」視察研修
- 22日 議会活性化調査研究特別委員会《第3小委員会》
- 23日 議会運営委員会
- 24日 千葉県船橋市議会より
「西合志図書館天文台について」視察研修
- 29日 第1回(3月)定例会開会、議会運営委員会、
全員協議会

【3月】

- 6日 議会広報調査特別委員会、議会活性化
調査研究特別委員会《第3小委員会》
- 9日 議会活性化調査研究特別委員会
《第2小委員会、第3小委員会》
- 14日 議会運営委員会
- 16日 全員協議会
- 21日 第1回(3月)定例会閉会
- 26日 議会活性化調査研究特別委員会《第1小委員会》
- 27日 福岡県遠賀町議会より
「乗り合いタクシー実験運行及び
レターバスの実施状況について」視察研修

平成24年第2回定例会日程(予定)

お知らせ

次回の定例会は6月8日からの開催となります。
ぜひ、傍聴においでください。

月	日	曜	会議名	主な内容
6	8	金	本会議	市長提出議案上程及び説明
	14	木	本会議	質疑、委員会付託
	15	金	常任委員会	付託事件の審査
	18	月		
	20	水	本会議	一般質問
	21	木		
	22	金		
	26	火	本会議	委員会報告 (質疑、討論、表決) 議員提出議案 (上程、質疑、討論、表決)

※日程は変更になる場合があります。

表紙のはなし



4月1日(日)
第41回須屋区民体育祭が実施されました。
好天にも恵まれ、桜も満開。
区民にとっては充実した1日となりました。

合志市内の桜の名所を紹介します。

今年も桜が美しく咲き、花見で賑わっていました。
合志市にはたくさんの桜の名所があります。
写真は妙泉寺公園の桜です。



他にも次の様な桜の名所があります。

- 弁天山公園(野々島)
- 妙泉寺公園(須屋)
- 九州沖縄農業研究センター(須屋)
- 竹迫城跡公園(上庄)
- 福原グラウンド(福原)
- 菊池恵楓園(栄)
- 泉ヶ丘市民センター(幾久富)
- 日本たばこ産業(株)熊本工場(幾久富)



議会だよりに対するご意見は

合志市議会事務局 電話 096-248-1111(代表)
248-2038(直通)
Fax 096-248-2047
メールアドレス gikai@city.koshi.lg.jp

議会広報調査 特別委員会

委員長 島田 敏春
副委員長 後藤 修一
委員 濱元幸一郎
委員 松本 龍一
委員 西島 隆博

生物の進化の過程で、生き残ってゆくものは、必ずしも強いもの、賢いものではなくて、変化に適応できたものだといわれます。
私たちも環境や社会の変化を敏感に感じ取り、適切な対応、ベストの選択ができるよう、常に目を見開き、頭をクリアにして、議会活動に努めたいと思っています。

今年の桜は、平年より一週間ほど遅くなりましたが、見事に咲き誇り、咲いている期間も長かったように感じました。これは、冬から春にかけて気温が低かったためと思われます。一方、世界的には、同時期に高温になったところもありました。北米で平均温度5〜6℃、北極では10℃高くなったそうです。
地球の温暖化は、着実に進んでおり、また、世界の環境や社会も少しずつではありますが、確実に変化を遂げているのであります。

編集後記



合志市議会だより きすな
No.25 2012年5月17日

〒861-1195 熊本県合志市竹迫2140
TEL(096)248-2038 URL www.city.koshi.lg.jp/
発行/合志市議会 編集/議会広報調査特別委員会